

応募状況および選考経過・発表

応募状況

2011年4月21日の募集開始から6月15日の締め切りまでに、全国の新聞販売所、系統会、新聞販売同業組合などから合計50件の応募があった。7月下旬までに各地区ごとに選考が行われ、同月末の日本新聞協会販売委員会への上申締め切りまでに、全国11地区から20件の活動が上申された。

今回で5回目を迎える2011年の地域貢献大賞では、これまでの自薦だけではなく他薦の仕組みを取り入れることとし、新聞各紙にPRを兼ねて、読者から推薦活動を募る広告を掲載した結果、読者から27件の活動が推薦された。27件の内容を分類すると、ミニコミ紙などの発行に関する活動が多数を占めた。なお、上申された20活動のうち、4活動が読者推薦によるものである。

選考経過・発表

9月5日開催された外部審査員（47ページの名簿参照）による選考会での選考ならびに、地域貢献大賞選考委員会（＝販売委員会正副委員長会議〈47ページ名簿参照〉）で下記のとおり審査・選考を行った。

1. 選考会

9月5日（月）開催の選考会

選考に先立ち、各候補作品について事務局から説明したうえで、販売委員会に上申のあった20件の活動の中から、地域貢献大賞1件、地域貢献特別賞1件を選考した。

当日は、6人の外部審査員と、下林販売委員会委員長（毎日東京）、田中副委員長（産経東京）が出席し、外部審査員から評価の高い活動を挙げて絞り込んだ後、話し合いにより決定した。

2. 選考委員会

9月15日（木）に開催。選考の結果を踏まえ審議の結果、地域貢献大賞1件、地域貢献特別賞1件、地域貢献賞18件を選出した。この結果は、同日開催の販売委員会に委員長から報告、承認された。

3. 理事会

10月5日（水）開催の新聞協会理事会は、販売委員会からの選考結果と選考経過に関する上申を承認した。

4. 発表

新聞は10月5日（水）組み込み・10月6日（木）付朝刊以降、放送・電子メディアは、10月6日（木）午前5時以降で取り扱った。このほか、新聞協会ホームページでも発表した。

5. 表彰式

11月17日（木）開催の東京・千代田区内幸町のプレスセンターホールで開かれる第11回新聞公正取引協議会会員総会の席上で行われ、全受賞者には新聞協会会長から、賞状とメダルが贈られる。

審査員名簿

法政大学社会学部教授

日本消費者協会参与

上智大学法学部教授

文字・活字文化推進機構理事長

主婦連合会監事

作家

(敬称略)

石坂悦男

長見萬里野

古城誠

肥田美代子

兵頭美代子

山本一力

以上6人

選考委員会名簿

毎日新聞東京本社 販売局長

朝日新聞東京本社 販売局長

読売新聞東京本社 取締役販売局長

日本経済新聞社 執行役員販売局長

産経新聞東京本社 執行役員販売局長

東京新聞 販売局長

河北新報社 取締役営業本部副本部長

新潟日報社 取締役販売事業本部長

神戸新聞社 執行役員販売局長

山陽新聞社 執行役員販売局長

西日本新聞社 執行役員販売局長

熊本日日新聞社 販売局長

下林光夫

橋本章二

黒澤幸

鈴木諭

田中豊

前田昌彦

加藤伊佐雄

星野純朗

岡野佳博

土井雅人

行武亨

濱田浩生

以上12社12人

日本新聞協会 地域貢献大賞 2011 年

2011 年 11 月 17 日発行

社団法人 **日本新聞協会**

〒100-8543 東京都千代田区内幸町 2-2-1

日本プレスセンタービル 7 階

電話 03 (3591) 4405

<http://www.pressnet.or.jp>

日本新聞協会

地域貢献大賞

2011年

新聞販売所の地域貢献活動